



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月10日

上場会社名 フィンテック グローバル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8789 URL <http://www.fgi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 信光  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 千田 高 (TEL) 03-5733-2121  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績 (平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	4,062	20.8	△139	—	△101	—	△122	—
28年9月期第2四半期	3,362	40.0	△519	—	△650	—	△642	—

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 △93百万円( —%) 28年9月期第2四半期 △715百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	△0.76	—
28年9月期第2四半期	△3.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	11,369	6,253	54.3
28年9月期	10,975	6,312	57.0

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 6,175百万円 28年9月期 6,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年9月期の期末配当予想は未定としております。

3. 平成29年9月期の連結業績予想 (平成28年10月1日～平成29年9月30日)

連結業績予想は、メツァ建設工事の費用の積算が終わり着工に至り次第、発表する予定です。なお、メツァ建設の先行投資負担があるものの、アセット投資案件やファイナンスアレンジ案件等の実行によりこれを吸収して、最終利益は黒字になると見込んでおります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年9月期2Q	161,935,300株	28年9月期	161,927,300株
29年9月期2Q	一株	28年9月期	一株
29年9月期2Q	161,930,476株	28年9月期2Q	161,912,722株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、企業を支援するブティック型投資銀行として投資銀行業務と企業投資を中心に事業を展開し、企業のニーズに応える様々なソリューションを提供して成長をサポートするとともに、地域産業の振興・支援にも積極的に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、アセット投資、不動産証券化のアレンジメント、企業投資の回収による売上がそれぞれ増加しました。また、公共コンサルティング事業等を行う子会社を連結の範囲に含めたことにより、売上高は4,062百万円（前年同期比20.8%増）となりました。営業損益は139百万円の営業損失（前年同期は519百万円の損失）となり、前年同期から改善したものの、メツァ事業等の先行投資を吸収するに至りませんでした。経常損失は為替差益65百万円を計上したことで101百万円（前年同期は650百万円の損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は122百万円（前年同期は642百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、主に一般管理費の配賦基準等を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。このため、以下の前年同期との比較については、前年同期の数値を変更後の測定方法により作成した数値で比較しております。

また、売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

#### ① 投資銀行事業

投資銀行業務においては、第1四半期連結会計期間にアセット投資において再生可能エネルギー発電施設の売却等により売上高975百万円を計上しております。不動産証券化のアレンジメントは案件組成が順調に推移し、前年同期比でアレンジ手数料が増加しました。不動産アセットマネジメントは、ヘルスケア施設開発案件が順調に推移しましたが不動産開発案件が一部売却に至ったことで、受託資産残高は前連結会計年度末比4.4%減の10,464百万円となりました。

企業投資においては、ファンド投資において金銭請求債権の譲渡やファンド収益取込により、売上総利益235百万円を計上しております。また新規投資は、高収益企業1社に対し実行しました。営業投資有価証券の残高は、新規投資及び外貨建投資の為替差益の計上があったものの、投資回収により前連結会計年度末に比べ47百万円減少し1,243百万円となりました。

メツァは、開業にむけて準備を進めました。建物、インフラ等の実施設計フェーズに移行し、実施設計を基にした工事費用の算定とともに、資金調達協議を同時並行で進めました。また、開発行為許可申請のため、地元自治体と事前協議を行い、平成29年5月2日に開発行為許可を申請しました。なお、当社は平成29年6月に許可になると見込んでおります。

投資銀行事業の売上高は1,805百万円（前年同期比40.7%増）、セグメント利益は403百万円（前年同期比339.1%増）となりました。

#### ② 不動産事業

不動産事業は、福利厚生サービス契約企業の拡大のため、営業体制を強化させたことにより、契約企業数及びサービス提供の対象人数は順調に増加しました。また、グループ会社数社の不動産管理業務を統合、強化し、管理戸数を増加させるとともに、社宅業務を強化しました。住宅販売の売上は前年同期比で微減したものの利益率は改善しました。

不動産事業の売上高は2,003百万円（前年同期比3.3%減）、セグメント利益は74百万円（前年同期は17百万円の損失）となりました。

#### ③ 公共コンサルティング事業

公共コンサルティング事業は、第1四半期連結会計期間に㈱パブリック・マネジメント・コンサルティング（以下、「PMC」という。）及び㈱新公会計研究所を連結子会社としたことで、当第2四半期連結会計期間よりこの2社で構成する報告セグメントとしました。

当事業では、平成29年度までに全地方自治体を対象として要請されている統一的な基準による財務書類の作成のコンサルティング受託が増加しています。また当社、(株)新公会計研究所の公共コンサルティング機能をPMCに集約し、拡大が見込まれるPPP/PFI手法の導入検討や下水道事業等の公営企業会計適用等へのコンサルティング受託体制を整備しました。

公共コンサルティング事業の売上高は166百万円、セグメント利益は31百万円となりました。なお、当事業は当第2四半期連結会計期間より報告セグメントとしているため、前年同期比は記載しておりません。

#### ④ その他

(株)ムーミン物語は、ムーミンバレーパークのコンテンツとその施設の検討、プロモーション活動等を進めました。(株)アダコテックは、解析システムの検証等多数の引き合いをいただき、複数の適用プロジェクトが進捗しております。

(株)ムーミン物語による埼玉県飯能市のふるさと納税向けの商品売上や、第1四半期連結会計期間より虎ノ門ハム(株)を連結の範囲に含めたことにより、その他の売上高は90百万円(前年同期比552.8%増)となりましたが、(株)ムーミン物語が一部負担するメッツァ開設準備費用により、セグメント損失は155百万円(前年同期は58百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末より3.6%増加し、11,369百万円となりました。これは主として、現金及び預金が358百万円、仕掛販売用不動産が954百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が478百万円、販売用不動産が952百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末より9.7%増加し、5,116百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が199百万円、短期借入金が343百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末より0.9%減少し、6,253百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が109百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、メッツァ事業の先行投資を吸収するに至らず営業損失を計上したものの、同事業を除く本業の投資銀行事業は、アレンジメント、アセットマネジメントの業務受託や企業投資等が順調に推移したことによって、黒字化しております。

一方で、メッツァ事業は建築、土木等の実施設計を基にした建設業者の工事費見積等の内容の精査をしておりますが、工事費が固まり次第、資金調達すべく複数の金融機関、投資家との事前協議も進めております。

連結業績予想は、メッツァ建設工事の費用の積算が終わり着工に至り次第、発表する予定です。なお、メッツァ建設の先行投資負担があるものの、アセット投資案件やファイナンスアレンジ案件等の実行によりこれを吸収して、最終利益は黒字になると見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,290,523	1,932,397
受取手形及び売掛金	67,723	546,659
営業投資有価証券	1,291,852	1,243,854
営業貸付金	793,762	652,626
商品	—	14,241
販売用不動産	977,020	1,929,786
仕掛販売用不動産	2,693,211	1,738,987
繰延税金資産	11,628	5,306
その他	328,402	220,058
貸倒引当金	△188,909	△47,255
流動資産合計	8,265,216	8,236,662
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,622,743	1,820,139
その他	684,874	842,887
有形固定資産合計	2,307,618	2,663,026
無形固定資産		
のれん	54,072	42,154
その他	36,555	54,546
無形固定資産合計	90,627	96,701
投資その他の資産		
投資有価証券	110,065	100,503
その他	263,837	272,928
貸倒引当金	△61,740	—
投資その他の資産合計	312,163	373,431
固定資産合計	2,710,409	3,133,159
資産合計	10,975,625	11,369,822

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,130	213,587
短期借入金	1,981,862	2,325,383
1年内償還予定の社債	38,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	115,665	137,634
未払法人税等	30,719	42,814
繰延税金負債	2,846	—
賞与引当金	50,099	73,762
その他	538,957	319,459
流動負債合計	2,772,281	3,142,640
固定負債		
社債	60,000	45,000
長期借入金	1,540,470	1,637,338
繰延税金負債	141,840	132,518
退職給付に係る負債	105,901	113,713
その他	42,246	44,793
固定負債合計	1,890,459	1,973,363
負債合計	4,662,741	5,116,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,548,647	4,549,016
資本剰余金	2,122,245	2,122,615
利益剰余金	△215,238	△325,124
株主資本合計	6,455,655	6,346,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△194,875	△170,541
その他の包括利益累計額合計	△194,875	△170,541
新株予約権	33,560	46,593
非支配株主持分	18,544	31,257
純資産合計	6,312,884	6,253,817
負債純資産合計	10,975,625	11,369,822



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	3,362,009	4,062,461
売上原価	2,604,919	2,874,388
売上総利益	757,089	1,188,073
販売費及び一般管理費	1,276,453	1,327,663
営業損失(△)	△519,363	△139,590
営業外収益		
受取利息	1,640	289
持分法による投資利益	682	10,451
為替差益	—	65,089
不動産取得税還付金	12,091	7,031
その他	3,374	4,520
営業外収益合計	17,789	87,381
営業外費用		
支払利息	33,472	37,114
為替差損	92,695	—
支払手数料	11,678	11,609
その他	11,213	796
営業外費用合計	149,061	49,520
経常損失(△)	△650,635	△101,729
特別利益		
固定資産売却益	—	804
新株予約権戻入益	472	8,061
関係会社清算益	634	—
特別利益合計	1,107	8,865
特別損失		
関係会社株式評価損	3,619	—
固定資産売却損	—	1,075
固定資産除却損	216	—
特別損失合計	3,835	1,075
税金等調整前四半期純損失(△)	△653,364	△93,938
法人税、住民税及び事業税	9,307	29,466
法人税等調整額	△6,873	△5,846
法人税等合計	2,434	23,620
四半期純損失(△)	△655,799	△117,559
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,113	4,948
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△642,686	△122,507

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純損失(△)	△655,799	△117,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59,517	24,334
その他の包括利益合計	△59,517	24,334
四半期包括利益	△715,316	△93,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△702,203	△98,173
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,113	4,948

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	投資銀行 事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,278,516	2,071,597	3,350,113	11,895	3,362,009	—	3,362,009
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,168	—	4,168	2,028	6,197	△6,197	—
計	1,282,685	2,071,597	3,354,282	13,924	3,368,206	△6,197	3,362,009
セグメント利益又は 損失(△)	91,967	△17,050	74,917	△58,107	16,810	△536,173	△519,363

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、連結子会社が行っているソフトウェアの開発・販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△536,173千円には、セグメント間取引消去13,510千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△549,684千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	投資銀行 事業	不動産事業	公共コンサル ティング事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,803,025	2,003,986	166,761	3,973,773	88,688	4,062,461	—	4,062,461
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,313	—	—	2,313	2,214	4,528	△4,528	—
計	1,805,338	2,003,986	166,761	3,976,087	90,902	4,066,990	△4,528	4,062,461
セグメント利益又は 損失(△)	403,803	74,406	31,406	509,616	△155,425	354,190	△493,781	△139,590

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、連結子会社が行っているソフトウェアの開発・販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△493,781千円には、セグメント間取引消去27,105千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△520,886千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適正に評価するため、主に一般管理費の配賦基準等を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。

当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成しており、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間に開示したセグメント情報の利益又は損失の算定方法との間に相違が見られます。

また、当第2四半期連結会計期間より、子会社株式の追加取得により「公共コンサルティング事業」を報告セグメントとして新設しております。